

北陸新幹線開業に向けた敦賀のまちづくりとPRに関する提言書

本県においては、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、官民連携によるまちづくりが進んでおり、首都圏や関西圏の人々に対して福井県の魅力を伝え、発展していく大きなチャンスを迎えています。

敦賀駅周辺では、新しい施設や道路の整備等が行われており、今後福井県がどのように変わっていくのか期待しているところです。しかし、敦賀市においては、市民の関心が高まっているとは言い難い状況にあります。敦賀開業が1年延期になったにも関わらず、宿泊施設を備えたレストラン「オーベルジュ」という集客の目玉施設はいまだに検討段階であり、建設が間に合うかどうかも分かっておらず、また、市内に点在する観光スポットをつなぐまちづくりも検討が始まったばかりです。今後、地元の人にとって敦賀が魅力ある「まち」になっていくのでしょうか。

また、敦賀には他県にも誇れる魅力があるにもかかわらず、それをうまく発信できていないように感じます。つまり、今ある敦賀の魅力を敦賀市民が発掘し、観光客にインパクトのある形で発信することが非常に大きな鍵を握っていると考えます。敦賀のまちづくりにしろ、嶺南地域の魅力発信にしろ、高校生等の若者の意見も取り入れていくことで、開業に向けた機運醸成にも繋がっていくのではないかと思います。

そこで、北陸新幹線開業を契機に、地元の人と観光客が敦賀を「楽しくて魅力あるまち」であると感じるために、次の事項について提言します。

- 1 敦賀駅周辺のまちづくりや賑わい創出について、県と敦賀市の連携を密にするとともに、ハード面だけでなくソフト面における開業対策を十分に講じること
- 2 敦賀で夕食を食べて宿泊してもらうため、敦賀の夜の魅力向上に繋がる施策を講じるとともに、季節ごとに敦賀の魅力を楽しむことができる観光ツアーの造成を支援すること
- 3 SNS等を利用した敦賀の魅力発信について、高校生等の若者の意見も反映し、さらに強力に進めてくこと

令和4年8月4日

福井県知事 杉本達治様

敦賀気比高等学校

チーム「Red cross」

杉本磨美

田口桃子

藤岡玄

上本苑乃